

令和元年第2回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	12	相澤久義	<p>1 新庁舎建設と総合支所機能の考え方と三本木庁舎の利活用について</p> <p>(1) 新本庁舎建設，令和4年4月供用開始に向け事業着手したが，少子化等による人口減少による税収減が予想される。新庁舎建設費総額 83 億円以内で完成することができるか。建設後財政負担が多くなり，行政サービス低下に陥るのではと危機感を持つが，所見を伺う</p> <p>(2) 本庁舎建設後の総合支所機能は。 また，総合支所長権限についての考え方を伺う</p> <p>(3) 三本木庁舎の利活用について，三本木総合支所庁舎の有効活用策を，大崎市の政策としての考えを伺う</p> <p>2 少子化・人口減少の中で，活力・魅力・住みたくなる大崎市を目指して</p> <p>(1) 大崎市統計によると，人口減少対策を講じているが人口減少に歯止めがかからない。周辺市町村から見て，大崎市に住みたくなる大崎市各地域の魅力ある地域振興策と税収向上策について伺う</p> <p>(2) 若者が結婚できる環境づくりについて</p> <p>ア 出生者数が年々減少しており，結婚のできない若者がふえている中，先日婚活支援センターの休止が報道された。さらなる充実した婚活支援センターの再開を望む。今後の取り組みについて伺う</p> <p>(3) 移住，定住のための優良在宅地の造成について</p> <p>ア 市内には宅地造成計画されている区域，面積はどれくらいあるのか</p> <p>イ 三本木地域に住居を求めている人が多くいると聞くが，農振法第13条第2項の5号要件で，土地改良事業等の工事が完了した年度の翌年から8年が経過していても住宅を建てる場所がないと転入阻害され，住宅を求め他市町村へ転出。特例除外はできないものか伺う</p> <p>ウ 市内の5号要件での農振区域を伺う</p> <p>エ 5号要件経過後の，住宅地整備，工業団地整備の考えを伺う</p> <p>(4) 若者の雇用の場の提供と企業誘致状況について</p> <p>ア 三本木 SIC 東部工業団地造成事業は令和元年度秋完成予定とされているが，誘致企業の現状を伺う</p> <p>イ 周辺では民間による造成が進められるようだが，現状について伺う</p> <p>ウ 起業家支援対策の状況について伺う</p> <p>3 汚染牧草の早期処理について</p> <p>(1) 令和元年度は約 20 ヘクタールの土地に約 400 トンのすき込みを予定しているようだが，鳴瀬川等の河川敷を見ると，畜産農家が国交省より採草地として借り上げ管理されているが，他は支障木や雑草等が繁茂して環境が悪化し，大雨などのときはごみなどで流れを阻</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
2	8	八木吉夫	<p>害されている。またキツネ、タヌキ、イノシシのすみかになっている。国交省と協力して市独自で支障木、雑草の撤去を行い、畜産農家の協力を得て採草地として、すき込みを実施すべきと考えるが、農林業系廃棄物の早期解決策を伺う</p> <p>4 中学校部活動外部コーチの処遇について</p> <p>(1) 先日行われた中総体では、県大会を目指して頑張る中学生に感動を覚えた。選手を支えるベンチコーチ、いわゆる学校長が認める部活動外部コーチは、市内各中学校に種目別に何人いるのか伺う。 また、処遇についても伺う</p> <p>1 再生可能エネルギー政策について</p> <p>(1) ごみ処理施設からの廃熱温水の利活用、再生可能エネルギー小水力発電の利活用振興政策について、どのように進めていこうとしているのか、所見を伺う</p> <p>2 民間による土地区画整理事業に対する市のあり方について</p> <p>(1) 常襲冠水地域の解消につながる、民間による区画整理事業に対し、行政としての支援、あり方について伺う</p> <p>3 本庁舎建設に対する考え方について</p> <p>(1) 建設費用が当初の計画の倍近くになること、建設地と駐車場の敷地が道路によって分断される計画について、所見を伺う</p>
3	9	佐藤講英	<p>1 国道 108 号古川東回りバイパスの開通工事に伴う安全対策と市の対応について</p> <p>(1) 県道 32 号との交差点工事における通行時の安全対策について</p> <p>(2) 市民に工事状況を知らせる広報について</p> <p>(3) 市道のショートカット通行と安全対策について</p> <p>(4) 関係する市道の拡幅工事の考えについて</p> <p>(5) 信号機の設置と地元要望の対応について</p> <p>2 世界農業遺産の PR について</p> <p>(1) 世界農業遺産の PR の考え方について</p> <p>(2) ふるさとプラザ屋上や JR 沿線、高速道路や国道等への大型看板設置の考えについて</p> <p>(3) これまで保存していたふるさとプラザにある農具や民具、四季の里「凧菜・上の家」の活用について</p> <p>3 学力向上の底上げについて</p> <p>(1) 標準学力調査や全国学力・学習状況調査の調査結果を活用し、指導の改善を図るべきと思うが、具体策について</p> <p>(2) 指導主事が 2 年で交代するが継続的な指導について</p> <p>(3) 家庭や地域との連携による早寝早起き朝ごはんと規則正しい生活で学力向上を図ることについて</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	18	遊佐辰雄	<p>(4) 学校図書充実と移動図書館の活用で学力向上を図ることについて</p> <p>1 鳴子温泉の源泉確保と維持管理について</p> <p>(1) 下地獄源泉の確保と今後の維持管理について</p> <p>(2) 鳴子温泉全体の源泉維持管理と支援策について</p> <p>2 市内にある蒸気機関車（SL）の管理について</p> <p>(1) 大崎市3カ所に展示されている蒸気機関車の維持管理と今後の見通しは</p> <p>3 宮城県が新設しようとしている「宿泊税」に大崎市は反対すべきではないか</p> <p>(1) 鳴子温泉への観光客の入り込み状況等の現状をどう認識しているのか</p> <p>(2) 鳴子温泉がある大崎市として「宿泊税」の導入に対して明確に反対を表明すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 観光客の増加を図る施策をどう考えているのか</p> <p>4 玉造クリーンセンター廃止後の一般廃棄物の収集搬入について</p> <p>(1) 令和4年3月で玉造クリーンセンターが廃止される予定だが、ごみ収集搬入はどう検討しているのか</p> <p>(2) 廃止後も玉造クリーンセンターを収集搬入の中継所として活用させるべきであると思うが、所見を伺う</p>
5	13	鎌内つぎ子	<p>1 子育て支援の具体化について</p> <p>(1) 幼児教育・保育の無償化に伴い、子どもの医療費の所得制限撤廃について</p> <p>(2) 公立、私立の保育園、幼稚園の散歩コースの安全対策について</p> <p>2 学校教育の環境整備について</p> <p>(1) 小中学校のエアコン設置工事の進捗状況と体育館へのエアコン設置について</p> <p>3 高齢福祉の充実策について</p> <p>(1) 介護施設の人材確保対策について</p>
6	16	横山悦子	<p>1 災害公営住宅家賃軽減制度延長について</p> <p>(1) 5月29日に提出した要望書について、伊藤市長の見解を問う</p> <p>(2) 低所得者に対する災害公営住宅家賃軽減制度を10年目まで延長継続することについて</p> <p>(3) 災害公営住宅の家賃滞納者数と今後の家賃の見通しについて</p> <p>2 東北新幹線沿線振動・騒音対策について</p> <p>(1) 毎年8月の東北新幹線鉄道騒音等対策会議で、低周波音と振動で市民が困っていることを伝えることについて</p> <p>(2) 3月19日に行った測定の再測定をすべきと考えるが、いかがか。</p> <p>また、大崎市の測定だけではなく宮城県の調査も含</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	19	只野直悦	<p>めた分析が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 大崎市, JR東日本, 宮城県, 住民との打ち合わせ (年2回程度) について</p> <p>3 幼児教育無償化の制度について</p> <p>(1) 幼児教育無償化具体化に向けた方針と事業内容について</p> <p>(2) 待機児童数と保育士確保の待遇改善について</p> <p>(3) 市民への周知方法と時期について</p> <p>(4) 総事業費, 国からの補助金と市財政のかかわりについて</p> <p>(5) 公立小中学校副給食無料 (年収 360 万円以下) 実現について</p> <p>4 児童生徒の「命を事故から守る」安全対策について</p> <p>(1) 通学路の安全点検と関係機関, 見守り隊員等の協力体制について</p> <p>(2) 公立小学校, 中学校敷地内と通学路への防犯カメラ設置について</p> <p>5 ひきこもり対策について</p> <p>(1) 8050 問題, ひきこもり人数と現状と現在の取り組みについて</p> <p>(2) 関係機関との相談体制構築について</p> <p>6 大崎市古川中央コミュニティセンターについて</p> <p>(1) 大崎市シルバー人材センターが入っている大崎市古川中央コミュニティセンターは, 現在, 耐震化と老朽化が問題となっているが, その管理状況と利用状況, 建てかえの必要性について</p> <p>1 未来を担う子どもたちの教育環境の充実について</p> <p>(1) 小中学校の2学期制について</p> <p>ア 全国で小中学校の2学期制の関心が高まっている背景について</p> <p>イ 本市における3学期制から2学期制導入への所見と進捗について</p> <p>ウ 教職員と保護者の理解について</p> <p>(2) 体力向上策について</p> <p>ア 児童生徒の体力の現状と向上への課題は</p> <p>イ 「がんばっぺスポーツの日」の成果をどう見ているのか</p> <p>ウ 幼児期の運動遊びの現状と新たな事業の導入について</p> <p>(3) 食育の推進について</p> <p>ア 本市の学校給食における「子どもがつくる弁当の日」実施の現状と拡大する考えについて</p> <p>2 交流人口の拡大について</p> <p>(1) 観光振興ビジョンの進捗について (受け入れ態勢の構築)</p> <p>ア 台湾などインバウンド対応の現状と今後の方向性は</p> <p>イ 観光ボランティアガイドの体制整備は</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
8	10	佐藤弘樹	<ul style="list-style-type: none"> ウ 地域おこし協力隊の期待と活用策について (2) 教育旅行, グリーンツーリズム推進の本気度について ア 受け入れ態勢構築の進捗は (地域ごとの受け入れ家庭数) イ 誘致活動の現状と課題は ウ 世界農業遺産アクションプランとの連携強化について <ol style="list-style-type: none"> 1 学校二学期制導入への考えについて 2 学校図書室 (司書, 図書) の充実について 3 不登校児童生徒の状況と支援策について 4 大崎市図書館と公民館図書室の連携策について 5 全国健康福祉祭 (ねんりんピック) 参加への支援策について 6 市民通報システムの導入と効果について
9	28	佐藤 勝	<ol style="list-style-type: none"> 1 大崎市議会基本条例と執行部の構えについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 議会基本条例の公布から間もなく7年が経とうとしているが, 残念なことに, 市民の議会への評価は決して高いとは言えず, その存在価値は薄いとも言われている。このような現状について, 車の両輪に例えられる二元代表制の一方の機関として, 執行部は現在の大崎市議会をどのように評価しているのか。地方自治法上, 執行機関の優位性は認めざるを得ないが, 市長の所見を伺う (2) 議会基本条例第7条では「市長等と緊張ある関係を構築し」とあり, 執行部と議会は対等な関係で緊張感を持つものとしている。執行部はみずからの現状をどのように評価しているのか, 市長の所見を伺う (3) 行政執行の責任者としてのリーダーシップを発揮した市長の答弁を求めているところだが, 一般質問は1回目だけで, 議案質疑に至っては答弁をすることは稀であるが, 理由を伺う。 また, 本市議会では, 論点を整理するために反問権が行使できるよう条例で定めているが, 執行部で活用されない理由を伺う 2 昨年度実施した市民意識調査の追跡調査の検証の結果について <ul style="list-style-type: none"> (1) 前回定例会において答弁の最後に「この議会が終わってから追跡, 検証したい」との約束があったが, その結果はいかがだったか伺う。 また, 政策を分野別にすれば, どの部門にどうポイントを当てて見直しをするのか, そのプロセスを伺う (2) おおさき市地方創生総合戦略も5年目になり, 見直し時期に入った。市民意識調査の結果を踏まえて戦略の見直しをしなければならないが, 工業団地造成関連事業等をどう捉えて進めるつもりか伺う 3 新鶴巻工業団地の開発手法の考えと市の本気度について <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民意識調査において満足度が最も低い27.8ポイント

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	6	佐藤仁一郎	<p>である「雇用の拡大についての就業支援」の項目について、どう分析し、どう評価しているのか伺う。</p> <p>また、他市町村と比較し、競争力のある施策を打ち出せないのはなぜか、理由を伺う</p> <p>(2) 平成 29 年の農村産業法改正で、新鶴巻工業団地の整備計画が休止の状況となっている。本気であるならば、開発手法の変更もできるはずで、なぜやめているのか、どうして進めることができないか、理由を伺う</p> <p>(3) 「村の元気を創造する」道の駅を整備できないかとの質問に対し「農業者や関係団体等との協議を重ねていきたい」との答弁であったが、この1年間どう話し合いをしてきたのか。おおさき道の駅に続いて、村のにぎわいの拠点として基本構想を策定すべきと思うが、所見を伺う</p> <p>1 本庁舎建設計画が進む中で総合支所空きスペースの有効活用策の進捗状況と方向性を伺う</p> <p>(1) 岩出山、三本木庁舎空きスペース検討チームを設置し本庁部局と総合支所が連携し幅広く活用策を検討しているが、その進捗状況を伺う。</p> <p>また、市民の利便性を図るため、国・県等に対して三本木庁舎の利活用を、市の施策として働きかけているか伺う</p> <p>(2) 地域住民、市民皆様から御意見、提言をいただくとしているが、その進捗状況を伺う</p> <p>(3) 施設の改修が考えられるが、現時点でどの程度の改修費用を見込んでいるか伺う</p> <p>(4) 本庁舎完成と同時に庁舎の利活用を速やかに図るとしているが、そのように進められているか伺う</p> <p>2 婚活、子育て支援の進捗状況と方向性を伺う</p> <p>(1) 地方創生総合戦略の基本目標3に、結婚から子育てまでの切れ目のない支援を進めるとあり、婚姻率の増加に重点を置き「婚活支援センター」を核として取り組むとある。未婚率は現在どれくらいか伺う</p> <p>(2) 「おおさき婚活支援センター」の方向性を伺う</p>
11	2	伊勢健一	<p>1 大崎市におけるSDG sに対する取り組みについて</p> <p>(1) 大崎市におけるSDG sに対する考え方について</p> <p>(2) 大崎市におけるSDG sに対するこれまでの取り組みについて</p> <p>(3) 大崎市におけるSDG sに対する今後の取り組みについて</p> <p>2 地域づくり協議会などの地域団体とNPO法人の連携について</p> <p>(1) 地域団体とNPO法人などとのこれまでの連携状況</p> <p>(2) 連携に対する行政としての考え方</p> <p>(3) 今後の連携のあり方</p> <p>3 小学校などの市有地内にある戦没者慰霊碑について</p> <p>(1) 大崎市内の小中学校などの市有地内にどれくらいあるの</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	20	相澤孝弘	<p>か</p> <p>(2) 現在の設置状況</p> <p>(3) 歴史的価値のあるものとして、教育題材としての取り組みについて</p> <p>4 工業団地誘致への取り組みについて</p> <p>(1) 大崎市の工業団地誘致の活動のこれまでの成果</p> <p>(2) 誘致活動の現状と課題</p> <p>(3) 誘致活動の展望</p> <p>1 魅力あふれる大崎市の構築に向けて 少子高齢化社会にあつて、行政主導で大崎市の魅力を高めていくことこそ、人口増加につながると考えて質問する</p> <p>(1) 大崎市の人口推計について ア 税金納入生産年齢人口の推移と税収減少額をどのように見込んでいるか伺う</p> <p>(2) 事業予定と財政状況の見通しについて ア 現在予定している建設事業と返済計画の中で、人口増加策に新たな財源を必要とした場合に対応できる予算が確保できるのか伺う イ 市役所本庁舎建設事業を含む今後見込まれる建設事業で、その予算の見込みと事業内容について伺う ウ 本庁舎完成後の三本木総合支所庁舎の空きスペースをどのように利活用していくのか伺う</p> <p>(3) 人口増に向けた施策について ア 大崎市に住みたい、生活したい、仕事をしたいといった魅力向上が人口増の要因と考えるが、市内での検討はどのように取り組んでいるのか伺う。 若者世代の定住、移住はどんな点が充実すれば他の市町より大崎市にという気持ちになるか、魅力が向上すると考えているのか伺う イ 子育て支援が充実していると、魅力が向上して人口増の要因になると考えるが、市民の声に応える努力をしているのか伺う</p> <p>(4) 安心・安全な地域をどのように確立していくのか ア 防犯、監視カメラの設置と予算措置について伺う</p>
13	7	佐藤仁一	<p>1 大崎市生物多様性地域戦略の必要性を問う</p> <p>(1) 本市は世界農業遺産やラムサール条約湿地などを有しており、環境の再評価と社会的関心の高揚のためにも貴重種の保護や野生動植物の生息生育地の保全を推進する地域戦略の必要性を伺う</p> <p>ア 生物多様性の類型区分による定性的指標や定量的指標を示すべきであり、多様な主体者間の連携や市民への普及啓発策を伺う</p> <p>イ これまでの任意団体やNPO法人等の活動を評価し、より一層の環境学習や野生鳥獣の被害軽減対策、保護などの市民協働醸成のための進捗管理策を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>2 鳴子温泉郷の源泉管理計画と温泉事業ビジョンを問う</p> <p>(1) 公共源泉及び私有源泉を含めた鳴子温泉郷の温泉供給量の安全安定確保と源泉管理ビジョンの必要性を問う</p> <p>ア 温泉、地熱の多様な活用（観光産業・保健医療・エネルギー）による地域づくりを目指す温泉事業ビジョンを問う</p> <p>イ 下地獄源泉の一連のトラブルによる配湯先への影響と温泉街としての総括、源泉供給上の現在の管理と対応、今後の計画と中長期的な考えを問う</p> <p>ウ 源泉関連災害発生時の対応体制は、本市防災計画等にどう位置づけされているのかを問う</p> <p>3 子どものための総合的な環境整備の必要性を問う</p> <p>(1) 妊娠、出産、子育て期における切れ目のない支援策の必要性を問う</p> <p>(2) 子どもの遊び場や通学上の安全確保のためのソフト、ハード両面での市民満足度を問う</p> <p>(3) 子どもの健全育成に向けた社会参加事業の指導者育成と学社連携を問う</p>
14	22	山田和明	<p>1 事業承継税制の利用促進について</p> <p>(1) 事業承継税制は、後継者不足に悩む中小企業経営者の円滑な世代交代を支援するため、贈与税や相続税の納税を猶予する制度である。中小企業の後継者不足による廃業増加に歯どめをかけるため、これまでに事業承継税制の拡充をしてきたが、後継者への引き継ぎを支援する税制措置が2018年度税制改正に盛り込まれたほか、2019年度税制改正では、個人事業主の事業承継税制も拡大された。そのため、大崎市では多くの企業が利用できるよう周知徹底を図ることについてどう取り組んでいるのか、所見を問う。</p> <p>2 食品ロス削減の取り組みについて</p> <p>(1) まだ食べられるのに捨てられる食品ロスを減らすための食品ロス削減推進法案が5月16日衆議院本会議で全会一致で可決し、衆議院を通過した。</p> <p>また、5月24日には参議院本会議で可決され、参議院を通過したが、国民運動的な協力の推進が必要である。そこで、大崎市としての取り組みについて問う</p> <p>ア 大崎市の基本方針を踏まえた推進計画の策定について</p> <p>イ 消費者や事業者に対する教育や学習の推進、普及啓発について</p> <p>ウ 食品関連事業者の取り組み支援</p>
15	1	早坂 憂	<p>1 大崎市の教育について</p> <p>(1) 昨年度末に発生した市内小学校に通う児童と連絡とれなくなり捜索願いが出された事案があった。このような場合、関係者や保護者への連絡体制はどのようになっているのか。また、今後の市としての対応策や予防</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
16	11	中鉢和三郎	<p>策について</p> <p>(2) 今年の3月に開設された子どもの心のケアハウスについて、開設後の利用状況はどうか。また、アウトリーチの需要は</p> <p>(3) 「教育機会確保法」について、市はこの法律をどのように捉えているか。また、その活用策は</p> <p>(4) いわゆる「オルタナティブ教育」やフリースクール、フリースペースとの連携の可能性について</p> <p>1 何とかならないのかイノシシ被害対策</p> <p>(1) 昨年の第2回及び第4回定例会に続き、引き続きイノシシ対策について伺う</p> <p>ア 本年度のイノシシ対策の目標と、施策のアウトカムとしての対策実施後の目指す姿について改めて伺う</p> <p>イ 本年度当初予算策定時の状況と、現在の状況の乖離をどのように考えているかについても伺う</p> <p>ウ 現状が、当初予算策定時に想定した状況との乖離が大きいとすれば、補正予算対応も含め、対策を加速する必要性を強く感じるが所見を伺う</p> <p>2 木質バイオマス資源の利活用と林業振興について</p> <p>(1) バイオマスの利活用策はさまざまあるが、本市におけるより現実的な方策は、林地残材や小径木等の未利用材を活用したチップ生産とチップボイラーによる熱利用だと考える。つまり、大崎森林組合とさくらの湯で行われている木質チップの熱利用の一連の流れである。この流れを川上から川下までどんどん太くすることが、バイオマス利活用の拡大策であり、林業振興の一つの手法と考える</p> <p>ア この木質チップの流通拡大策をいつまでにどのように行う計画か、所見を伺う</p> <p>イ チップ流通拡大策の一翼を担うと期待されている市役所本庁舎と鳴子総合支所へのバイオマスボイラー導入についての所見も伺う</p> <p>ウ 本年度当初予算審議の際、本市における再生可能エネルギー産業創出の年限を定めた目標に基づく具体的な取り組みを求める予算特別委員長の発言は、議会として執行部に事業推進を強く求めたものであり、その期待への回答を問うものでもある</p> <p>3 大崎市流地域自治のさらなる発展に向けて</p> <p>(1) 本市の場合、基礎交付金、ステップアップ事業交付金、チャレンジ事業交付金という「地域自治組織活性化事業交付金」の制度があるが、用途を限定しない一括交付金までには至っていない。平成 29 年度から始まった現行制度は見直す時期に来ていると考えるが、来年度以降の地域自治活動の財源についての所見を伺う</p>
17	3	鹿野良太	<p>1 企業誘致について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
18	5	山口 壽	<p>(1) 企業誘致において、本市が重要視するポイントは何か伺う</p> <p>(2) これまで本市の特性を生かした企業誘致が行われてきたのか伺う</p> <p>(3) 本市の企業優遇制度について、十分な整備が行われていると考えるが、所見を伺う</p> <p>2 古川西部小学校の統合（古川西中学校での小中一貫校導入）について</p> <p>(1) 4つの地区の合同検討委員会を開催している中で、いまだ各地区民への細かな説明が十分とはいえないが、今後の地区民への説明の方針と所見を伺う</p> <p>(2) 4つの地区の小学校統合により、各地区と統合校の関係性の再構築が求められるが対策を伺う</p> <p>3 金融リテラシーの普及、充実について</p> <p>(1) 市内における、詐欺や悪徳商法など金融に関する被害の実態を伺う</p> <p>(2) 本市の金融経済教育について、実施状況を伺う</p> <p>(3) 詐欺や悪質商法の被害に遭わないためにも、全世代における金融経済教育が今後さらに必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>1 観光地の周辺道路整備と市民生活の安全をどのように捉えているのか伺う</p> <p>(1) 観光地に隣接する道路と歩行者や通学路の安全対策をどのように捉えているか、所見を伺う</p> <p>2 市民に対して公平な上下水道の環境整備をどのように考えているのか伺う</p> <p>(1) 上水道、下水道事業は、市民に対し公平に配慮された整備をされているのか。また、将来の運営について、民営化の方向性は考えているのか、所見を伺う</p> <p>3 職員の労力、時間、経費の削減のためにもITを活用すべきと思うが、いかがか伺う。</p> <p>(1) これから、各部署においてペーパーレスを図るためにタブレット端末を活用する考えがあるのか</p> <p>(2) 農業委員会でも、毎月の会議資料と現地調査を行うに当たり、タブレットの活用で経費と労力の削減、また現地での状況確認ができ、必需品と考えるが、検討してみたいか伺う</p>
19	23	後藤錦信	<p>1 過疎地域の持続的な活性化に向けての取り組みについて</p> <p>(1) 今後の過疎地域自立促進特別措置法の方向性について</p> <p>(2) 鬼首地域の持続的な活性化について</p> <p>ア 温泉を活用した「峠の駅」構想について</p> <p>イ 若者定住促進住宅の整備について</p> <p>ウ 小規模介護施設の整備について</p> <p>2 国民保養温泉地鳴子温泉郷をどのように磨いてゆくのか</p> <p>(1) 栗駒国定公園エリアの連携に向けての現状と今後の取り組みについて</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
20	17	関 武徳	<ul style="list-style-type: none"> (2) オルレコース開設に向けた現状について (3) 市有源泉の管理に向けた取り組みについて (4) 豊富な泉質をわかりやすくアピールできる方策への取り組みについて 3 安全・安心への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 危険な歩きスマホへの対応、対策について 1 長期化する様相の経済不況への、景気雇用対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 低迷からの出口が見えてこない景気動向の中で、景気雇用対策にどう取り組んでいるのか (2) 企業誘致等雇用拡大への動向の弱さを感じるが、取り組みについて伺う (3) 交流人口、定住人口拡大への取り組みについて 2 安全・安心のまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 高齢者ドライバーによる事故が頻発しているが、本市の抑止対策、安全強化への対策について (2) 高齢者の運転免許証返納への環境整備の取り組みについて
21	24	氏家善男	<ul style="list-style-type: none"> 1 幼児教育無償化について <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市の対象者数、3～5歳児、0～2歳児の低所得世帯 (2) 補助の上限が3～5歳で3万7,000円、0～2歳で4万2,000円であるが、保護者の負担が残るケースは本市であるのか (3) 無償化の対象とならない給食費や行事費送迎バス代など月の保護者の負担額について (4) 無償化に伴う入所希望が増加する懸念があるが、待機児童解消への取り組みについて 2 民営化計画に伴う真山分園の統廃合について <ul style="list-style-type: none"> (1) 民営化計画では真山分園は平成32年度（令和2年度）となっているが、現在22名の入所状態となっており、施設も比較的新しい。送迎も家族が行っており、存続の要望が強い。民営化計画は児童数の推移等を見計らって再検討すべきと考えるが、所見を伺う
22	15	加藤善市	<ul style="list-style-type: none"> 1 最近ニュース等で話題になっていることについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 高齢者ドライバーへの安全対策について市の対応を問う (2) 成人のひきこもりの現状と対策を問う (3) 幼児の虐待問題について、市でどのように把握し、どのような対策をとっているか伺う 2 アメリカ大統領の発言に対する大崎市の考えについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 参議院選挙後に二国間交渉で農産物輸入増加を求める趣旨の発言に関する報道があったが、それに対し、農業を基幹産業とする本市としての考えを問う 3 ふるさと納税について <ul style="list-style-type: none"> (1) 国においてふるさと納税の仕組みを変える動きがある

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
23	4	山口文博	<p>が、大崎市の対応を問う</p> <p>1 少子化対策について</p> <p>(1) 現状行っている少子化対策に加えて、新たな対策を行う必要性があると思うが伺う</p> <p>ア 保育費の一律無償化はもちろん保育所に看護師を常駐し病児保育の積極的な取り組みについて伺う</p> <p>イ 第3子を設けやすくするため、児童手当給付事業の第3子以降の支給額を一律中学卒業まで3万円としてはどうか。見解を伺う</p> <p>ウ 育児休業開始から6カ月間の住民税を免除し、育児休業中の賃金減少緩和を図り、育児環境を改善することについて伺う</p> <p>(2) 大崎市民病院本院には保育施設があるが、各分院にも保育施設を設け、それらの院内保育施設で病児保育を行ってはどうか、伺う</p> <p>ア 就労している夫婦にとって、インフルエンザなどの感染しやすい病気は完全に治るまで数日かかるが、職場を休むことができず、治りがけで保育所に預けてしまうことがある。それで、感染を避けるための病院での病児保育について伺う。また、病院で働く女性にも必要と思うが見解を伺う</p> <p>2 農村地域の高齢者健康増進について</p> <p>(1) ひとり暮らしや夫婦だけの高齢者が多い地域に、健康相談や声がけなど生活のサポートで元気に暮らしてもらうため、また、医療費削減のためにもコミュニティナースを配置してはどうか。見解を伺う</p> <p>(2) 健康寿命を保つには日々の運動が欠かせない。農村地域においては体育施設がないため、市道での散歩が体育施設のかわりになっているが、未舗装の市道は足場が悪いため転び、けがをすることがある。その未舗装を舗装する必要について伺う</p>
24	27	小沢和悦	<p>1 国連総会で決定された「家族農業の10年」の目標と大崎市の構想について</p> <p>(1) 「家族農業の10年」は、世界の食料の85%が耕作面積2ヘクタール以下の小規模農業者で賄われているにもかかわらず、その継続が世界的に困難になりつつあるので10年間の中で経営が継続、発展できるよう支援策を講じていこうという趣旨という認識をしているか</p> <p>(2) 大崎市が「家族農業」の存続発展の鍵として具体化しようとしていることについて</p> <p>2 旧古川市農村部の交通空白地域対策について</p> <p>(1) 10月からの清滝地区予約乗り合い型タクシー実証運行と、他の農村部についての具体化について、市からの声がけで検討委員会を立ち上げる考えか</p> <p>3 栗原、登米両市の官製談合事件発覚のきっかけとなった入札結果に類似したケースは大崎市にはないのか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
25	26	木内知子	<p>(1) 栗原市と登米市に共通するのは、職員から設計価格等の情報が業者に伝えられ、最低制限価格比 100%で落札とのこと。大崎市においても、疑われるようなことがあり、県警が捜査に入ったということだがどういうことがあったのか</p> <p>4 市税等を完納できない市民への大崎市の対応について</p> <p>(1) 完納できない市民に寄り添い、問題の解決、納税もできるよう自立支援を行う方針は持っているのか</p> <p>(2) 以前の議会で、滋賀県野洲市のような自立支援の市民生活相談課の体制は、新庁舎の完成後の方向で考えているとの答弁があったが、スペースの問題なら、差し当たり他の庁舎の活用でも可能ではないのか</p> <p>5 放射能汚染農林業系「廃棄物」の処理について</p> <p>(1) 上宮協栄会が申し立てた試験焼却中止命令仮処分申請に対する仙台地裁の却下決定の理由の一つに「申し合わせ」は「不作為義務を定めたものではない」という趣旨がある。それは大崎市と大崎広域行政事務組合の主張で仙台地裁が認めたということか</p> <p>(2) 大崎地域広域行政事務組合組合会の決定と試験焼却を開始し継続している現状に矛盾はないのか</p> <p>(3) 即時抗告がなされたが、仙台高裁決定が下されるまで試験焼却第6クールは延期すべきではないのか。 もし、債権者の申し立てが認められた場合、第6クールの試験焼却は中止し、処理方法の再検討をすべきではないのか</p> <p>1 松山ふるさと歴史館の整備、充実を図ることについて</p> <p>(1) 正職員としての学芸員を配置することについて</p> <p>(2) インターネット配信整備をすることについて</p> <p>(3) 魅力ある施設にするための運営体制整備について</p> <p>2 大崎東部地区高校再編の動きにおける地元住民への対応について</p> <p>(1) 立地自治体としての姿勢と考え方について</p> <p>3 「ひきこもり」問題への実効ある対応について</p> <p>(1) 本市の実態把握とその対応状況について</p> <p>(2) 家族の受け皿となる相談窓口について</p>	